

令和元年度 第1回生坂村総合教育会議要旨

1. 日時及び場所 令和元年10月31日（木） 午前10時30分～

役場会議室

2. 出席者 村長 藤澤泰彦、副村長 牛越宏通、教育長 樋口雄一
教育長職務代理者 小林和雄、
教育委員 牛越秀男、久保田有利子
教育次長 山本雅一

3. 協議・報告事項

① 生坂村保小中一貫教育研究検討協議会について

説明内容

10月に開催した生坂村保小中一貫教育研究検討協議会の協議事項等の説明。小中学校の参観日を活用した学習会を11月に開催予定。内容は小規模校・少人数学級のメリットとデメリット、小中一貫型小・中学校や義務教育学校について長野県教育委員会の主幹指導主事等より説明をいただく。説明終了後は、質疑応答やアンケートを実施予定とする。

委員からの意見質問

・学習会のお知らせは全戸配布のチラシを配布しているが、防災行政無線やICN等でも周知した方が良い。なるべく大勢の方に来ていただきアンケートを取っていただきたい。

答) 現在は、ホームページに掲載予定だが、防災行政無線やICNなど広く告知に努めていきたい。

・アンケートの中の学校との関係欄に保育園を入れられないか。

答) 設問内容を若干変更して保育園の保護者であることが分かるようにしたい。

・小中一貫型小中学校と義務教育学校との違いは？

答) 小中一貫型小中学校の方は小中学校にそれぞれ校長先生がいる学校で6年、3年の教育になる。義務教育学校は1人の校長先生で9年の教育になる。その9年の中で5年と4年というように独自でわけることができる。

・5年後の小中学生の人数は把握しているのか？将来的な人数を知っておく必要がある。

答) 調べれば、すぐ分かるので学習会に用意する参考資料に明記していきたい。

決定事項

今後の保小中一貫教育の関しては、11月11日と22日に小中学校で行う学習会のアンケート結果を参考にして、議論を進めていただきたい。

② 教育委員会の関連する個別計画の策定状況について

説明内容

今年度が最終年度となる「生坂村男女共同参画計画」と「生坂村子ども子育て支援事業計画」のそれぞれ第2期計画策定に向けて、今後予定するアンケートの内容等を説明し、今後の予定など策定状況を説明。

委員からの意見質問

- ・男女共同参画のアンケートは個人を抽出して実施するのか？

答) 今のところ20歳から10歳ごと、上が80代以上で区切り、人口比率により男女を計算した人数で抽出していく予定。

- ・アンケートは回収率が話題になっている。何か回収率を上げる方法を考えているか。

答) アンケートを出していただいた方に抽選で景品等をプレゼントするような方法を事務局では検討している。

- ・今回はアンケートを出していない方が分かるので出していない方に催促してみてもどうか。

答) できるとすれば、提出されていない方に再度ご協力をお願いとしてハガキを送る方法があるので検討したい。

- ・男女共同参画については、家族構成によっても考え方や意識の持ち方が違ってくると思うので、ある程度家族構成が分かった方がいいのでは。次の5年後も参考になると思う。

決定事項

送付するアンケートの内容について添削した方が良い箇所があれば、後日事務局に連絡していただくこととする。また、アンケートの回収率向上策に関しては、事務局で再検討の上、実施する。

③ 平成30年度生坂村教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価について

説明内容

平成30年度における教育委員会の取り組み状況、組織及び運営状況、主要事業の実績報告、事業評価の報告についての説明

委員からの意見質問

- ・評価でCが多い。Cは課題がある事業ということであるが、その課題の解消に向けて今後どう取り組んでいくか職員は考えているのかどうか。
- ・いろいろな事業等を実施しているが参加者が少ないように思う。
- ・担当で評価し、報告して終わりとなってしまっている。評価の中でどんな課題があり、対策としてどうやっていくかも考えて報告してもらったらどうか。
- ・事業を行ったあと各部署や係ですぐに反省会を開き、何が問題だったのか、今後はどうしていこうかという話し合いが大切である。まずは直ぐに話し合いを行ったらいと思う。

④ その他

報告内容

第2期高校再編に関する旧11通学区の現状についての報告及び北海道標津町との中学生交流事業について報告